

〔記入例〕 審判報告書 ※公式文書鉛筆書き不可

大会名 ※正式大会名称 (例)平成21年度小田原1種一般リーグ戦 1部

試合時間 ※90・70など 分 延長戦 ※20・10など 分

試合 A ※トーナメント表の左チームまたは 対 B ※トーナメント表の右チームまたは
 リーグ戦表の上のチーム リーグ戦表の下のチーム

結果 3 : 3 (1 : 0) (1 : 2) 延 (:) (:) ※左から試合全体の得点・前半・後半・延長前半・延長後半の順に記入
※実際にキックオフした時間を記入する

日時 2009年 5月 10日 9時01分 キックオフ PK方式 (:)

場所 ※正式名称で記入する (例)小田原市酒匂川スポーツ広場 サッカー場 上流

主審 小田原 太郎 所属 小田原サッカークラブ 副審1 ※フルネーム 所属 所属チーム名

第4の審判員 ※所属 = 1級：日本協会 2級：関東協会 3級：神奈川県協会 4級：神奈川県協会

 ※フルネーム 所属 所属チーム名 副審2 ※フルネーム 所属 所属チーム名

※所属 = 小田原協会会長宛の提出に限り所属チーム名で記入してください

競技場、用具の状態

※芝または土、良好（競技場、用具が全て良い状態であれば「良好」と記入。その他の場合は、具体的に記入「芝・土・一部芝など、状態は：凹凸あり・マウンドあり・水溜りあり・雨により軟弱、風により砂埃が舞うなどを記入」）

※競技場の用具「ゴールネット、ライン等」に不備があった場合には、競技開始前にどのような改善策を実施し、その結果どのような状態になったので競技を開始したかを詳細に記入する。

警告

時間	チーム	番号	氏名	理由 { () 内に反ラ異繰遅距入去を記入し、具体的事由を記入する}
1	A	9	橋一郎	(ラ) 相手のドリブル突破に対して無謀にチャージし相手を倒した
2	A	3	開成三郎	(反) 相手競技者の腕を後方より露骨に引っ張り前進を妨げた
3	A	4	松田次郎	(異) 前半が終了して更衣室に戻る際、前半の判定に対して、言葉を用いて異議を示した。
4	B	2	新名太郎	(遅) ゴールキックの際ボールを何度も置きなおし意図的に再開を遅らせた
5	A	3	開成三郎	(異) 主審の判定に対して、ボールを地面にたたきつけて異議を示した
6			※氏名はフルネームで記入する	() ※理由の欄は競技規則の記載どおりに記入する。「ラフプレー」は、競技規則では「反スポーツ行為」に含まれるが、日本では独立した警告の項目として採用している。適用を間違わないように注意すること。
7			通算時間で記入する。ただし、試合前・ハーフタイム・試合後の表現もありうる。	()
8				

※何も無い場合には斜線を引くなどして空欄にしない。

退場 (詳細は重要事項報告書に記入して提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい。)

時間	チーム	番号	氏名	理由 (不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2)
1	B	10	相洋五郎	不正 (詳細は別紙に記入) ※(別紙の重要事項報告書に詳細に記入して提出する。)
2	A	3	開成三郎	警告2回 ※(2度の警告の場合には、この報告書に記入するのみでよい)
3				

※警告の欄と同じ要領で記入

その他の報告事項

※特に問題のなかった場合には「特になし」と記入する。その他の場合には具体的に記入する。 [具体例]①競技者・交代要員以外のチーム役員に懲戒罰(警告・退場)に相当する行為があった場合。この場合も、氏名(フルネーム)を記入する。②チームのユニホーム等に問題があった場合。③キックオフの時間が遅れた場合。④副審に問題があった場合。⑤運営面で問題があった場合。⑥その他(規則第5条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合。) ※特別に詳細を報告しなければならない場合は、別紙の重要事項報告書を用いること。

以上の通り報告いたします。

2009年 5月 10日 ※記載日を記入し、年号は西暦で記入。住所と氏名は、明瞭に自筆で記入。

主審住所 小田原市小田原1丁目2-3

署名 小田原 太郎 (※ フルネーム)

小田原サッカー協会 会長殿